

2012年 国民春闘News

No.3

神奈川県国民春闘共闘会議

〒231-0062

横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F

電話 045-212-5855

FAX 045-212-5745

2012年3月16日 発行

トラック・ダンプ・タクシー・海コンで大行進

神奈川交運共闘会議（建交労、自交総連、港湾労組などで構成）による毎年恒例の自動車パレードが、3月11日にとりくまれ、約90人の仲間と、トラック2台、ダンプ4台、自動車11台、タクシー31台が参加しました。

賃上げを勝ちとろう

大震災からちょうど1年の日でもあることから、亡くなられた方に1分間の黙祷を行った後、主催者の市野・共闘会議議長（自交総連委員長）があいさつ。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故にもふれ、「今なお、被災地では、がれきの処理も大幅に遅れており、被災者の生活や雇用についても、先の見えない深刻な実態がある。被災者の生活を再建するためにも、私たちの生活を守るためにも、政治も変えていこう」と述べました。



ダンプで訴える仲間

来賓として、神奈川労連の水谷議長があいさつし、「震災復興、原発事故の処理問題、TPP 参加問題など、政府、財界・大企業の責任を問われる問題が山積。神奈川ではタクシー運転手の仲間などが原告となっている、最低賃金裁判もたたかっている。12 春闘を思い切ったたたかって賃金引上げを勝ちとろう」と元気よく意気込みを語りました。

首都圏交運共闘会議の鈴木事務局長と食農建神奈川会議の永田議長からも、情勢報告を含めたあいさつがありました。

息子とその彼女を連れて参加

港湾労組の女性組合員は、劣悪な環境のなか、組合で要求を掲げて改善してきた自らの経験も息子に話し、自分のやっている組合活動を見せようと、息子とその彼女を連れて、海コンヘッド（海上コンテナを運ぶトラックのヘッド）に乗って参加。「息子が派遣社員で働いているが、とにかく劣悪な環境にいる。『正社員になれる』といわれたが派遣のまま。もうすぐ彼女と籍を入れるのに、このままじゃ、あかん！」と怒りを込めて話します。



元気よく意志統一する交運共闘の仲間

大幅な賃金引上げで震災復興・景気回復を実現するために、12 春闘への意気込みを“団結がんばろう”で意志統一し集会をしめ、元気よくパレードに出発。さまざまな要求などの横断幕を車両にくくりつけて、山下埠頭から新高島までを往復しました。コースは横浜の中心部で、日曜日の昼間ということもあり人出が多く、市民から大きな注目を集めました。